

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2015 August

08

Vol.589



03 【特集】

『第25回福岡県中小企業経営者フォーラム』開催に向けて

06 21世紀型 自立型企业づくり

『仕事が好き』より 『会社が好き』

～社員の『オヤジ』でありたい～

第一電建 株式会社

09 エネルギーシフトを考える

10 戦後70年を考える

「人間の尊厳を否定する戦争」

12 8月行事案内

14 自社商品・サービス紹介

15 第2回 理事会報告 ようこそ同友会へ

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

はみだし Report

21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.06掲載)



第一電建 株式会社
代表取締役

高山 幸治 氏 (東支部)

私が高山さんと初めてお会いしたのは、今から9年前、高山さんが第一電建(株)の常務取締役の時でした。

当時から行動力は抜群で、同友会にもすぐに入会されました。支部活動にも積極的に取り組み、同友会活動を理解し、多くの友人、知人も入会することとなり、東支部の活動に多大に貢献されています。

そんな高山さんが6年前に代表取締役就任され、電気工事業から『住まいるレスキュー隊』という住生活の新しいサービスを展開されています。文字通り住まいの困ったを迅速に適正価格で解決するサービスです。

高山さんは、子供、孫まで入社したくなる第一電建(株)を目指していますが、これも彼の親分肌な性格から生まれた地域へのサービスだと思えます。



住まいるレスキュー隊
マスコットキャラクター
「トラツQ」

記事:伊藤 博城氏(東支部)

今月の表紙

撮影:富谷 正弘
(株式会社コスイメージ/玄海支部)



今回ご紹介する私の逸品は、糸島手造りハムの、ドイツ語で『ブロードブルスト』という生ウインナーです。香り高い味わいのウインナーは、吟味された肉とスパイス、そして伝統の製法で時間をかけて造られます。厳選された豚肉とスパイスにこだわり、ニンニク、シソ味、プレーン等10種類が、糸島の地で伝統の製法で生み出されています。

ドイツで4年に一度開催される。国際コンクールIFFAに、出品12品目に全てゴールド賞受賞。世界的にも認められた逸品です。

創業は1989年、26年の歴史があり、15名の社員と共に毎日ソーセージ30種類、ハム10種類の製品を糸島の地で製造しています。



糸島手造りハム店内の様子



「ブロードブルスト」(生ウインナー)



糸島手造りハム 外観



備糸島手造りハム 中園 信一郎 氏

「私の逸品」生ウインナー『ブロードブルスト』

有限会社 糸島手造りハム

糸島市泊647-2 電話092-324-2821

<http://www.itoshimaham.co.jp>

製品企画営業チーム 中園 信一郎 氏 (糸島支部)

『第25回福岡県中小企業経営者フォーラム』開催に向けて

経営者フォーラム実行委員長 日高 美治

来たる10月14日水曜日にヒルトン福岡シーホークにて、第25回福岡県中小企業経営者フォーラムを開催します。一年間の運動と学びの集大成となる行事であると共に、同友会運動の成果と課題を確認し、次なる成長につなげていく福岡同友会の20の全ての支部メンバーが集い学び合う、年に一度の大イベントです。

厳しい外部環境に
立ち向かうために

過去のフォーラムを振り返ってみますと、テーマに一貫性を感じることができません。それは、中小企業を取り巻く外部環境は年々厳しさを増していることです。この厳しい外部環境に対して、どのようにして我々は立ち向かっていくのか。これが一貫したフォーラムのテーマ

マではないかと私は考えています。

ある年は「大不況に負けない企業づくり」またある年は「全社一丸の企業づくり」をテーマにしました。昨年は「今こそ我々がチャレンジしよう!」というテーマで厳しい外部環境に立ち向かい、自社の経営を磨き続けている経営者を全国からお招きしました。もちろんベースは「人を生かす経営」です。

決して多くはない経営資源をフルに発揮させるために、社員さんと共に社内での内部環境を整備し、全社一丸となって経営に向き合っていく姿を通じて学んで参ります。会歴が浅い会員さんも月刊同友の読者にはおられることと存じます。この福岡県中小企業経営者フォーラムは同友会の三大全国行事のスタイルを踏襲しています。全国行事に業務の都合でなかなか参加で

きないが、機会を見つけて学びたい

という会員のニーズにもお応えし、福岡県だけでなく、他県の素晴らしい経営者の方々もお招きしています。その経営体験からテーマに沿ったグループディスカッションを十分に行い、お互いの考えを披露しながら経営のヒントを掴んでいく学びの場になっております。

今回のフォーラムの
取り組み

本年度の経営者フォーラムの取り組みとしては、①県・地区会・支部が一体となったフォーラムづくり、②プレ分科会のオープン化です。

①については、11のそれぞれの分科会を委員会や支部が担当していただき、分科会作り込みの時点からフォーラム運営に関わって

ただくことで、参加者意識を高め、

自らが、そしてみんなが創る経営者フォーラムを実現させていきます。特にグループディスカッションの質の向上はフォーラム自体の質を決める大切な要素の一つです。グループ長の選出を早期に行い、プレ分科会に参加していただき、グループディスカッションの質の向上に努めて参ります。

②のプレ分科会のオープン化は初めての試みです。素晴らしい経営者のお話をもっと聞きたかったという会員さんのご意見を毎回たくさんいただきます。報告者の選定にご評価いただいたものとして、ありがたく頂戴しておりましたが、このニーズに少しでもお応えするためにプレ分科会のオープン化を実施します。あらかじめプレ分科会を告知しますので、一般の会員



日高美治フォーラム実行委員長

さんはどなたでも参加できるよう
にします。そしてフォーラム当日
には、別の分科会に参加いただく
ことで2つの経営体験報告で学ぶ
ことができます。

強みの源泉は「こだわり」

今年の経営者フォーラムのテー
マは「こだわり」です。少子高齢化
による国内市場の縮小。アベノミ
クスによる財政・金融・経済政策に
伴う企業間格差の広がり。消費税
増税や様々な社会負担の増加。東南
アジア経済圏の著しい成長。中国・
韓国との外交不和。これらのどれ
を取っても我々中小企業の経営に
とって多大なる影響を与えています。

福岡同友会は2015年運動方
針として「原点回帰！人を生かす
経営の総合実践で強じんな企業づ
くり」中小企業の経営環境を改善
し、我々が主役の地域再生を「
を掲げました。そして、『ビジョン
2020』には、「未来は我々がつ
くる」と我々自らの主体性をビジョ
ンとして掲げています。

我々の経営を脅かす様々な外部
環境の変化に対応するために最も
必要なことは、同友会会員全員が
持っている競争優位性をさらに高
めること。それは自社の「強み」を
見出し、それをさらに磨くことです。

その強みの源泉は経営者としての
「こだわり」であり、こだわりへの
追求心です。さらなる競争に打ち
勝つ経営者のこだわりを焦点を当
て、強みを磨くことを学んでいき
たいと考えております。人材育成・
戦略・商品・地域など様々な角度か
らその「こだわり」のエッセンスを
学んで参ります。

「一寸法師戦略」

基調講演では、(株)一蘭の吉富学
社長に講演いただきます。ご存知
の方も多いと思いますが、九州の
とんこつラーメンを独特の経営戦
略で全国へ拡大させ、現在は世界
を見据えた店舗展開を行っている
屈指の経営者のお一人です。「一寸
法師」になぞらえた弱者が強者に
立ち向かうには、どのような戦略
が必要だったのか。またどのよう
な人材育成法で強靱な組織を創り



基調講演講師 吉富 学 氏

上げたのか。今年の経営者フォー
ラムの基調講演にふさわしい独自
の「こだわり」経営論を展開してい
ただけます。

分科会報告者の 「こだわり」

11の分科会はそれぞれ他社には
ない「こだわり」を持っている経営
者のみなさんです。

『社員満足にこだわる！』

長崎同友会の古里学社長(フラッ
シュ(株) 第1分科会にて報告)は、
長崎市内をはじめ、美容室を12店



第1分科会報告者 古里 学 氏

舗経営されておられます。特筆す
べき点は、「顧客満足よりも社員満
足を優先している」点です。長崎市
の繁華街の真ん中にあり、夜のお仕
事に従事されている女性客をター
ゲットにしているにも関わらず、夜
遅く、休みが少ない業界の商慣習を

変えるために夕方まで閉店してしま
うユニークな経営をされています。

『海外進出にこだわる！』

広島同友会の本多正治社長(株)
Ginet 第2分科会にて報告)は、



第2分科会報告者 本多 正治 氏

広島市内で学習塾を9施設展開さ
れておられます。彼は4年前に少
子高齢化に対応するために市場を
海外に向け、最初の展開としてフィ
リピンのセブ島に留学ができる英
会話学校を開設し、初年度から黒
字化させ、次なる展開へと準備し
ている経営者です。

『地域資源にこだわる！』

東京からは郡司剛英課長(東京都
墨田区産業観光部産業経済課と浜
野慶一社長(株)浜野製作所 東京同
友会)を招き、墨田区の中小企業振
興基本条例制定の取り組みについ
て報告いただきます(第8分科会)。
日本で最初に中小企業振興基本
条例を制定し、自治体の産業政策づ

くりという点では全国のモデルとなってきた墨田区。1977年から製造業・商業実態調査を行い、区民の福祉向上は中小企業の振興があったからこそと中小企業を位置づけ、条例を制定してから36年が経ちました。地域資源にこだわり、「ものづくり・人づくり・まちづくり」を具体化するため、「フロンティアすみだ」、「新ものづくり創出事業」、「ガレージスミダ」などを展開。スカイツリーを誘致し、産業観光にも力を入れていきます。

そんな墨田区できらりと光る企



第8分科会報告者 浜野 慶一 氏



第8分科会報告者 郡司 剛英 氏

業のひとつに、浜野製作所があります。一度は火事で工場が全焼しましたが、周りの人に助けられながら再起を果たしました。産学官連携で環境にやさしいモビリティ「HOKUSAI」や海底探査機「江戸っ子1号」を開発。2014年に町工場の技術やノウハウを発信する拠点「ガレージスミダ」を立ち上げました。「地域資源の掘り起こし」を行う両者の報告より、地域における中小企業の存在意義、条例の在り方について学び合います。

「人を生かす経営にこだわる！」

また、同友会の活動には、「人を生かす経営」がベースにあります。第9分科会では、広島同友会の川中英章社長（KAWANAKA EVENTOS）に「人を生かす経営」にこだわった報告をしていただきます。

若いころから独立志向が強かった川中社長は、26歳の時にイベント業で創業しました。当時の思い



第9分科会報告者 川中 英章 氏

「社員満足」を追求できる会社にしたというものでしたが、事業を順調に拡大するとともに、相次ぐ社員の退職や求人難に苦しみま

す。広島同友会に入会して共同求人に参加し新卒を採用するも、教育・評価制度も、迎える環境も無く、さらに退職が続きます。

その後、同友会での新入社員研修などに関わる中で、経営者がビジョンを示し、社員の目標を共有し、経営者と社員が共に歩む経営の意味と大切さに気付きます。今では業績も順調に伸ばし、「農業活性化事業」など、業界の常識を変え、社員が活躍する場を与えていくなどありがとうが溢れる人材育成へのこだわりの実践報告をしていただきます。

そのほかにも「こだわり」を自社の競争優位に変え、オンラインワ

ン企業を目指している経営者のみなさんにご報告いただきます。ご期待ください。

今年は一般社団法人として新たな1ページを創るために、そのシンボルとして経営者フォーラムを成功させ、福岡同友会の会員さんのパワーを集めると同時に、会内外に福岡同友会の存在意義を、この経営者フォーラムを通じて知らしめましょう！

事前参加ができる経営者フォーラム

誰でも参加できる
プレ分科会

素晴らしい経営者のお話をもっと聞きたかったという会員さんのご意見を毎回たくさんいただきます。このニーズに少しでもお応えするため、今回のフォーラムでは、プレ分科会をオープンにしました。多くのプレ分科会に参加いただき、学びを深めていただければ幸いです。

■ プレ分科会開催日一覧

日程	時間	会場	分科会	報告者
8月26日(水)	18:00~	福岡同友会 会議室 (福岡市博多区吉塚本町9-15 11階)	第4分科会	飯田 剛也 氏 (株)タウンスポスト 代表取締役 (福友支部)
9月18日(金) (糸島支部例会)	18:30~	さいとびあ1F (福岡市西区西都2-1-1)	第10分科会	小津 智一 氏 (株)OZ Company 代表取締役 (糸島支部)
9月29日(火) (FAST例会)	18:30~	福岡県中小企業振興センター 403号会議室 (福岡市博多区吉塚本町9-15 4階)	第6分科会	小橋 洋治 氏 (株)ミルテックジャパン 代表取締役 (中央支部)

参加申込み・お問合せは事務局 (TEL:092-686-1234) まで

『仕事が好き』より『会社が好き』

社員の『オヤジ』でありたい

『会社は社員の成長の場』と定義する高山幸治さん。その仕組みづくりの具体的な取り組みを取材しました。



だいいちでんけん
第一電建 株式会社

代表取締役

たかやま こうじ
高山 幸治 氏

東支部

創業 1971年6月
住所 福岡市博多区井相田2-8-15
電話 092-588-2260
従業員 28名(うちパート1名)
http://www.d-denken.co.jp
①住まいるレスキュー隊(電気・水道・空調等の修理サービス)②総合電気設備工事



『町の修理屋さん』からのスタート

「ウチの父が仲間の方と『町の電気修理屋さん』として会社を興しました。昭和46年のことです」と話し始めたのは第一電建(株)代表取締役の高山幸治さんです。その後父親がその看板を引き継ぎ2代目社長になりました。

高山さんは学校を卒業して、「なんとなく、入社しました。自分としては起業して『オーナー』になりたいと思っていました。特に職種にこだわりはなかったのですが…。従業員5名の家業でした」。

ある日、床下換気扇の工事をしていた時のことです。ご主人とお茶を飲んでいたところ、同じ高校の先輩であることがわかり、大い

取材 広報部
文章 菅原 弘(東支部)
写真 旭 晋平(事務局)



第一電建(株) 外観

に気に入られたのでした。後日事務所に来るように言われて訪ねてみると、その御仁は福岡県の公共事業の発注に大きな影響力を持つ方で、高山さんに次々と担当部署を紹介してくれるのでした。高山さんは営業に専念することにし、年商は3倍に急増していくのでした。「テングになっていましたね」と當時を振り返ります。しかし、心の片

隅で何か物足りなさも感じていたと言います。30期目を迎えた平成12年、従業員は10名になりました。

会社の『やり方』を模索する

高山さんは独学で会計の勉強をしていました。県の入札で競合する他社と自社の財務状況を比べてみました。そこで初めて自社の財務内容が悪いことに気づいたので「オヤジ、負けとるぞ。なんとかせなイカンばい」。長男として自覚が目覚めた瞬間です。

他社と比べて知名度が低く組織力や営業力が弱い。つまり会社の『やり方』を変えなければいけないと考えました。そのためには『人』を増やさなければならぬ。何度も父親に進言しましたが、所詮一社員の身、はね返されるのでした。「今思うと、創業者との思いの差があったかもしれない。父は高山家を守るために稼ぐことが優先でした」。33期目(平成15年)、ISO9001という文字が高山さんの目に留まりました。何やら組織を改革するものらしいと思った高山さんは、今度はゴリ押しで社長をねじ伏せ、認証取得に取り組みました。取得後、売上は右肩上がり伸びていき「成長する喜びを感じました」

と高山さんは振り返ります。

やがて新卒採用を開始し、従業員は20名ほどになりました。「社員が増えれば質も上がってきて技術も向上し公共事業もさらに受注するようになりました」。

『やり方』から『あり方』へ

その頃同友会に出会います。異業種の経営者との交流は高山さんにとって刺激的なものでした。気づきがあったらすぐに実践しました。儲け話ののって、本業とは無関係のビジネス話に手を出したこともありました。しかし、その事業は失敗したのでした。「今思うとブレていましたね」。

さらに同友会で『経営理念』という言葉に出会い、すぐに『あすなろ塾』を受講しました。「会社とは何ですか」、「あなたは何のために仕事をしますか」という問いに「目からウロコでした」と振り返ります。今まで頭の中でモヤモヤしていたものが言葉として浮かび上がってきました。家業から企業へ、会社の『やり方』から『あり方』を追求するようになりました。

さらに『経営指針作成セミナー』で、次のような経営理念を掲げました。
① お客さまの『喜びと安心』に貢献

- ② 全社員の幸福の追求
- ③ 地域社会の繁栄に寄与

社長に就任

38期(平成20年)、社長に就任しました。事業は従来からの内線工事(住宅用のエアコンや換気扇など)・外線工事(運動場や公園などの照明、道路信号機など)に「暮らしたの困った」を解決する「住まいるレスキュー隊」を加え、3本柱にしました。

公共のインフラ工事においてゼネコンから「苦労さん」といわれることはあっても「ありがとう」といわれることがありません。ところが、一般家庭のコンセントの修理をしたお家の方からは「ありがとう」と言われます。感謝をされた社員が喜んでいるのを見て、一般ユーザー向けの修理事業を本格的に取り組むことにしました。「うちの創業の原点でもあります」。サービスマンが「電気工事」をやっている感じであると捉えています。

社長の仕事

理念を具現化するため様々な取り組みをしています。例えば人間力アップの仕組み化です。

『社長研修』。毎月第一土曜日の



第一電建(株) 社内の様子

18時から2時間、高山さんによる『経営理念』についての研修です。これはすべての業務に優先して開催されています。積極的・自主的な行動なら失敗もOK。「空振り三振なら、あります」。目先の利益ではなく、理念に合っているかが判断材料です。

『グループ討議』。一例としてテーマ「好ましくない立ち居振る舞い」。さまざまな意見が出た中で「髪の毛の色」については意見が分かれました。その日の結論は「銀行の受

付の方の髪の毛の色までならOK」となりました。

『気づき発見討論会』。業務改善の場です。「身だしなみチェックのためにバックヤードに姿見の鏡が欲しい」という意見には、高山さんが即「採用!」の一声で実現しました。『マナーアップ研修』。同友会会員の専門家を講師として招き、実践の研修です。

『社長との1対1飲み会』。65歳で定年を迎えたときに自分はどうなるかについていたいかを一人ずつ聞いていきます。そこで社長からはテーマが出され、社員からは決意表明のレポートを提出することになっています。こうして社員との価値観の共有を図っています。

今取り組んでいるのは『人財育成プログラム』。社員が目標設定して達成度を確認できるプログラムです。自己成長の判断基準にしたと考えています。

「これらは同友会で学んだことです。学んで、あとは実践するかどうかですね」。

こうした仕組みの中で成果を実感できるのが毎年開催される『第一電建フェスタ』です。お客さまに日頃の感謝を表し、盛りだくさんのイベントで『おもてなし』の企画です。今年も5月15日〜17日に開催され雨にも関わらず1500名

(前年比120%)の来場がありました。これは高山さんの思いが社員に浸透し、社員が率先して活動し、その結果お客様に喜んでいただいている証と言えるでしょう。「毎年赤字なんですけど、これは、社員共育・地域への貢献・PRのコストと考えています」。

『仕事が好き』より『会社が好き』

今年45期目に入り、経営理念には同友会の学びを活かし、「人間尊重」の文字が加わりました。会社は社員が自己成長する場であり、そのために働きやすい職場にしたいと考えています。新卒採用から離職率はゼロが続いています。「電気工事という『仕事が好き』というより、第一電建という『会社が好き』をめざしています」。自分の子どもや孫までも入社したいという会社、地域で30%の人が知っている会社をめざしています。「衣食住の住にかかわる分野であれば事業を拡大する可能性はあります」と語ります。

社員が成長する会社

取材の最後に高山さんが考える『自立型企業』についてお伺いしました。「企業の目的を計画にして、



第一電建(株) 倉庫内

理念を追求する会社。その中で社員・会社が成長していく会社だと思っています。その仕組み作りが社長の仕事ですね」。そして「そのために必要な力は」の問いに『オヤジ力』だと思っています。子どもに対しての無償の愛、成長をも守り責任を持つ『オヤジ』になりたいと思っています。新卒採用者の入社式には保護者の方を招待しています。そして高山さん自身が会社の説明をした後、「今日から私があなたたちの『オヤジ』です」と宣言するのでした。

取材協力ありがとうございました。

エネルギーシフトを考える

同友会では、エネルギーシフトという考え方を取り入れ、地域におけるエネルギー供給システムを、石油や石炭、ガス、原子力によるものから再生可能エネルギーによるものに切り替えることで、地域の経済を活性化できないか研究しています。

温暖化による豪雨災害

近年、異常ともいえる局地的な大雨が全国で災害をもたらしています。二酸化炭素等の温室効果ガスの増加による地球の温暖化が進み、日本も環境の変化が起きているといわれています。

地球温暖化を進行させないため、二酸化炭素の放出が少ない自然エネルギーを中心とするエネルギーシフトの取り組みが必要な時代になったと思います。

燃料の自給率を高める

日本では、原子力燃料や化石燃料の大半を外国からの輸入に頼っています。そのことがエネルギー自給率を低くしている原因となっています。また、世界的な市場の変動や中東の紛争などで燃料の価格の高騰の影響を受けざるをえません。国家戦略の観点からもエネルギーの自給率を高めることも大切なことです。

こういった観点から、エネルギーシフトに取り組み、エネルギーの自

給率を高めることで、世界的なメジャー資本に日本の資産が流れるのを防ぐことができます。

地方でのエネルギー自給

私たちが生活している九州地方は自然にも恵まれ、自然エネルギーを利用した発電に適していると思います。太陽光や地熱、風力など現在さまざまな発電施設が存在します。しかし、その多くは中央資本や九州の大手資本が運営するものが

多いようです。このように発電に関わる利益は地域に還元できていないと思います。

エネルギーシフトの考え方

鹿児島で行われた九州・沖縄ブロックの支部長・支部役員研修交流会(5月21日〜22日)で、ドイツにおける地域のエネルギーシフトについて、ドイツ在住の環境ジャーナリスト、村上敦氏の報告を聞き、基本的な考え方を学ぶことができました。

ドイツの小さな地域におけるエネルギーシフトは、地域の企業とそこに住む市民による発電事業を中心とする、地域の資本を地域で循環するという考え方です。発電設備は自然エネルギーや再生可能なエネルギーを使用したものが主になります。

エネルギーシフトの基本

我慢の省エネでない省エネをする
高効率な機器を使用する
再生可能なエネルギーを使用する

この三つのことを基本に、私たちが新たなエネルギー創造に取り組むこと、地域の企業が省エネ技術の開発に取り組み、地域の発電事業および送電事業に取り組むことなどが必要となります。これらのことは、都市部ではむずかしい考え方ですが、地方の将来を考え、小さな地域から取り組みを始め、エネルギー



博多湾の海上浮体式風力発電施設
(2014年5月地球環境問題委員会勉強会の見学会にて)

シフトができれば、地方経済の活性化に貢献できるという考え方です。

最後に

日本で消費されているエネルギーを全て自然エネルギーや再生エネルギーで賄うということはできません。自然エネルギーを普及させることと、エネルギーシフトの考え方も違います。同友会は環境と地域経済、両面からエネルギーシフトについて研究しないといけません。

二酸化炭素などの温室効果ガスの発生が少なく、安全かつ安価で、安定して供給できるエネルギーを理想とし、地方に経済効果の高いエネルギー産業が発展するように、大手企業も中小企業も技術革新を続けることが重要です。

県南地区会長 濱田 満広



福岡市の百道浜に設置された風力発電『風レンズ風車』

人間の尊厳を否定する戦争

諸岡昭三郎

(MORO企画・代表)

《1945・6・19》

火の雨が降った「福岡大空襲」

(まえがき)

『十五年戦争』のきっかけとなったのは1931年9月18日夜、中

国奉天近郊の柳条湖で、旧日本の関東軍が、日本の南満州鉄道線路を爆破した事件でした。

それは『五族協和主義』(漢族・満州族・蒙古族・朝鮮族・大和民族)の美名のもとに挑発と侵略をつづけたもので、その延長線上に1937年の「日中戦争」があり、つづく米・英国に対して真珠湾に奇襲攻撃をかけた太平洋戦争の宣戦布告や、ドイツのヒトラーが率いる軍隊の一方的なポーランド侵略など、第二次世界大戦の口火が大きく拡大しました。

その結果は、どう展開していったでしょう。

世界の60数カ国、1億人以上の国民が銃火を交え、殺戮をくり返し、6,000万人という多くの無辜の市民を巻き込み、尊い生命を奪った過去の歴史の反省と教訓から、平和を希求する願いの結晶である「日本国憲法」の真髓を一人、一人が、自らの「生きる力」の源泉として、守り抜いてきたものです。



『戦争とは、命令した者は傷つかない。命令された者が傷つき、生命と財産を失うことです。』

△ △ △

小倉にあった陸軍小倉造兵廠など、軍事施設・軍需工場の爆撃でしたが、すでに、その主力施設は、福岡市郊外の「春日原(現・陸自の基地)製造所」に移していました。

1944年の2月1日、戦局を有利とみた米軍は、マーシャル諸島に上陸し、2月4日には、日本軍守備隊全員を玉砕に追い詰め、つづく2月23日に、マリアナ諸島、サイパン島守備隊などの全滅によって、日本

軍は、太平洋の制海権に次ぐ、制空権を失う結果となり、6月16日には、米軍B29爆撃機が初めて北九州を空襲しましたが、狙いは北九州の

当時、旧制・中学修猷館の3年生だった私は、「国家総動員法」による「学徒勤労動員令」で、旧友たちと、48ミリ機関砲の砲身削りと、研磨機などを駆使させられ、毎日、芋ガユでクタクタになっていました。

やがて、春日原も米軍の標的になり、分工場として大分県の光岡(テルオカ)〔JR・久大線〕の山奥に、回廊型の穴倉を掘り、この作業

《時代の背景と推移》

1945(昭和20)年米軍による「原子爆弾」投下によって、8月6日広島、8月9日長崎は、一瞬のうちに焦土と化しました。8月15日に昭和天皇が、「終戦の詔書」をラジオを通じて、「玉音放送」として発表する前日、すでに、米・英・中・ソの連合国の『ポツダム宣言』を日本は受諾し、終戦を迎えました。

その「ポツダム宣言」の要旨は、①軍国主義の追放 ②日本国の秩序が回復するまで、連合国による占領(現実には米の単独支配) ③日本国の主権(領土)を本州・九州・四国と北海道および付属諸島に制限 ④軍隊を武装解除し、復員 ⑤民主主義の体制をつくる ⑥平和産業をつくる ⑦戦争犯罪人の処罰 ⑧日本軍隊の無条件降伏、などでした。

これらの要件について、連合国の統轄をしたのが、アメリカの単独支配の体制で、世界侵略の野望として進展していきました。いち早く9月2日には、連合国最高司令官として、マッカーサー元帥が、日本にきて、やつぎ早に、「占領政策」をすすめました。



(写真・焼け野原になった都心部—右から2番目、4F建ての旧十五銀行ビル(現)博多座)

日本本土空襲による 死亡者数

東京区部	83,793名
大阪市	10,388名
神戸	8,841名
名古屋	8,630名
横浜	4,616名
浜松	3,549名
鹿児島	3,329名
呉	2,494名
豊川	2,477名
富山	2,275名
八幡	1,996名
静岡	1,952名
堺	1,876名
青森	1,767名
岡山	1,737名
福井	1,583名
日立	1,578名
明石	1,461名
長岡	1,454名
高松	1,273名
津	1,239名
和歌山	1,208名
甲府	1,127名
仙台	1,066名
佐世保	1,030名
福岡	1,009名
川崎	1,001名

出典：「図説 アメリカ軍の日本
焦土作戦」(河出書房新社刊)

に、憲兵隊監視のなかで、朝鮮の人たち2千数百人がきびしい使役に耐えていました。

当時、私たち中学生や、女子挺身隊の動員組は、JR久大本線の善導寺、田主丸、筑後吉井町にあるお寺や、民家に分宿して毎日、光岡まで運ばれていましたが、客車は引率教師と女子に限られ、男子は、貨車に放り込まれての通勤で、いまでいう「人権無視」の典型でした。

そのような毎日を繰り返していた1945年(昭・20)の6月19日、マリアナ基地を発進したB29、223機が、福岡市を猛爆し、19日深夜から20日にかけて総計1528トンの焼夷弾を米軍は、投下しました。

その被害は、全市におよびましたが、とくに被害が大きかったのは、博多部で、私が生まれ育った古門戸町から通っていた奈良屋小学校区、冷泉小学校区で、例の「博多どんたく」や「博多山笠」で賑わいを見せる中心の街筋は、殆んど全滅

に近かったと姉や、兄、友人、知人が証言し、那珂川(博多中洲)の東部に位置する福岡部では簗子、大名小学校区がひどかった。と知人から聞きました。

福岡市全体の被害数字は、私が西日本新聞に勤務していた時の資料によると、焼失面積3・77キロ、被災戸数1万2856、被災人口6万599人、死者902人、負傷1078人、行方不明244人、米軍の損害はゼロであり、戦う武器をもたない裸の王様ならぬ日本軍の実体が判りました。

奈良屋小学校の消火にあたった同窓生から数多くの犠牲者が出たのが痛ましく、誰いうとなく、故人の墓参りも兼ね、奈良屋小の同窓会を毎年6月19日4時にして、15回ほどつづいていましたが、最後は、米倉徳君(戦後初の県展で天賞をとった、彫刻家)と奥村武君(博多の歴史に詳しい内科医)の三人でおわりとなりました。

いかなる理由をつけても、「戦争」は、人間性の尊厳を否定し、自然を破壊し、生物を抹殺する最大の暴力です。

村田英雄さんも証言

また、「無法松の一生」の演歌で有名になった村田英雄(本名・梶山勇)氏は、私たちと同年代ですが、

出身が浮羽郡の吉井町で、福岡空襲の当日、佐世保相浦海兵団の輸送班のトラックで博多に来ていて「地獄絵図」を見た状況をつぎのように語っています。(証言・福岡大空襲を語る会・1986・6・19)

『私の人生の中で、福岡大空襲時の十五ビル(現・博多座、西銀シティビル)地階の地獄絵図ほど忘れられないものはありません。今でも、心にしこりとして残っています。』

二十日の昼ごろから、博多部で一番被害の大きかった片土居町の十五ビル地階に作業班として入りました。遺体搬出作業でしたが、なんとも異様な臭いと焼死者のむごい姿に気が遠くなりかけたほどです。街を焼き払った敵のことを思うと、私はくやし涙が出て仕方ありませんでした。犠牲者のごめい福を今も祈っております。ただ、その時の記憶では「電動シャッターが開かなかったため、たくさんの市民の方がなくなつた」ということでした。

当時、博多の街は足の踏み場もないほどの瓦れきの山でした。博多駅から北側は焼け野原で、玄界灘が真正面に見えていたのを覚えています。しかし、四十年以上たった今、新幹線が伸び、博多の街は大変な復興ぶり、当時のことが夢のようです。戦争は二度とてはいけな、と心に固く誓っています。』

2010年に同友会入会、筑豊支部では役員3期目、県国際交流委員会では所属2期目と、現在まで同友会と深く関わってきた鹿島氏。今後より密接に同友会と関わっていきたくと考えています。「絶対に潰れない会社になりたい」、「職人の将来に対する不安の全てを払拭したい」と語る鹿島氏から、同友会での学びを自社へどう反映してきたのか?今後どのように自社を発展させていきたいと考えているのか?等について報告を行って、参加者で深めます。

20 木 18:00~20:30 福博支部 納涼会

■ ざうお天神店 (AMERICAN BBQ Garden)
福岡市中央区長浜1-4-15 ☎092-716-9988

20 木 18:30~21:00 西支部 納涼会

■ ゲイツ中洲7F ル・シャルダン
福岡市中央区中洲3-7-24 ☎092-260-1657

20 木 18:30~21:00 福友支部 8月例会

自社の強みの見つけ方
~ココに特化すると決めた理由~

■ TKPガーデンシティ天神 福岡市中央区天神2-14-8
福岡天神センタービル 8F ☎092-720-8003

■ 若菜 真一氏 有限会社ワカナクリーニング 代表取締役社長 (福友支部)

今、業界でできていない部分でお客様に喜んでいただく。このことに集中する中で、会社の理念は自己理念の確立が必要であることに気づく。衰退の激しい業界の中で存続していくために、経営者の在り方を考え、自社の強みを見極め特化することにより、中小企業がいかに活路を見いだしていくかを学びます。

20 木 18:30~21:00 ひびき支部 8月例会

人との付き合い方 (仮)

■ コムシティ 202会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360

社長業のひとつ、人との付き合い方。付き合い方は人それぞれ違い、何が正解?というのではないかもしれませんが、普段知ることのできない他の社長さんたちはどのような人との付き合い方をしているか、正解はなくてもコツはあるのかなど、勉強させていただき、社長自身にまた、自社に活かせる例会にします。

20 木 18:30~21:00 りょうちく支部 8月例会

出版社から「ものがたりカンパニー」へ
~生き残りをかけた事業ドメインの変革と実践~

■ 筑後川温泉"ふくせんか" うきは市浮羽町古川1099-8 ☎0943-77-3131

■ 田村 志朗氏 株式会社梓書院 代表取締役社長 (福友支部)

図書出版がメインの株式会社梓書院。一般書、ビジネス書、記念誌、広報誌の制作が主な出版物ですが最近ではマンガ事業・ホームページ事業・電子ブック事業・ブランディング事業などの分野にも力を入れています。このような事業展開をされるようになった経緯を話していただきます。

21 金 18:30~21:00 久留米支部 8月例会

社員のやる気を促す給与体系

■ 久留米市民サポートセンター

久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門6階 ☎0942-30-9067

■ 福島 克美氏 福島経営労務事務所 社会保険労務士

給与体系・人事評価やポスト・継続雇用における労働契約など、よりいっそう社員のやる気を引き出す処遇について専門家より報告いただきます。経営者として社員とともに会社をよりよい方向へ導いていくためにも必要な情報と知識を得られる内容です。

21 金 15:00~

女性部委員会 8月企業訪問例会

■ (株)プロデュース グループホーム きらめき

北九州市八幡西区本城東1-11-27 ☎093-695-3850

■ 中原 亜希子氏 株式会社プロデュース

グループホーム きらめき 代表取締役 (ひびき支部)

21 金 18:30~21:00

嘉飯支部 8月例会

安倍首相も驚いた! 畠中流6次産業の軌跡
~さらなる発展を目指して10次産業への成長戦略~

■ パドドウ・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138

■ 畠中 五恵子氏 有限会社畠中育雛場 代表取締役 (嘉飯支部)

1次産業から経営を多角化し6次産業へと変換させた手法や、女性経営者の視点、現場で働く女性スタッフとの店づくり・サービスには「女性ならではの考え方や心づかい」がどのように生かされてきたのかという経緯などお話しいただきます。そして、6次産業にとどまらず、さらに広がりを持たせようと10次産業という言葉を作りだそうとしている畠中さんの展望も伺いたいと思います。また、先日、女性経営者の農業の6次産業化を視察に見えた安倍首相を、どのようにお迎えし、どんな感想を持ってお帰りになったのか、安倍政権の推進する「成長戦略」との関連もその時のエピソードを交えながら話していただき、参加者には独自の経営戦略を持つことの意義や必要性を感じてもらいたいと思います。

22 土 18:00~20:30

筑紫支部 納涼会

■ 筑紫野温泉アマンディ 筑紫野市原田832-1 ☎092-926-2655

24 月 18:30~21:00

経営労働委員会 労務管理部 人事・労務の基礎知識セミナー(第3回)

就業規則の作成

■ 天神パークビル 福岡市中央区大名2-8-18 ☎092-721-5530

■ 茅嶋 孝一郎氏 茅嶋社労士・行政書士事務所 所長 (博多支部)

人を生かす経営において、社員が意欲を持って仕事に臨み能力を発揮できる仕組みを作ること、また、労働条件の最低基準を少なくとも守ることは大切です。労使関係を常に安定的に保ち、働く人が仕事と生活を調和させながら安心して働くことができるように、啓蒙していくためのセミナーです。

25 火 18:30~21:00

有明支部 8月例会

国際交流 (仮)

■ あめんぼセンター AVホール(予定) 柳川市一新町3-1 ☎0944-74-4111

■ 石橋 一海氏 エヌビーエス株式会社 代表取締役 (福博支部)

25 火 17:30~20:00

企業連携推進委員会 FAST8月例会

FAST in 九経交流プラザ第5弾『新しい中小企業支援施策の要点紹介』
~小規模事業者への支援強化~

■ 九経交流プラザ 福岡市博多区博多駅東2-11-1

福岡合同庁舎本館1階 ☎092-482-5391

■ 田中 幸仁氏 九州経済産業局 産業部 中小企業課総括係長

九州経済産業局との「FAST in 九経交流プラザ」も第5回を迎えました。これまで幾多のみなさんが国の施策情報を知り、支援や補助金等を通して事業の発展に繋げてこられました。今回も近々出される施策を先取りで紹介していただきます。

28 金~30 日

経営労働委員会 経営指針作成セミナー

■ 国民宿舎 虹の松原ホテル 佐賀県唐津市唐津4 ☎0955-73-9111

急激に移り変わる経営環境のなか、経営指針書の存在は企業の進むべき方向を明確化します。今こそ経営指針書を作成し、この荒波を乗り越えましょう!

参加対象: あすなろ塾受講済みの方

締め切り: 8月7日(金)

お申し込み・お問い合わせ先: 事務局 ☎092-686-1234

8月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

8日 14:00~17:00

同友すばる委員会
事業承継塾第2講

事業承継のポイント

■ 電気ビル共創館3F 福岡市中央区渡辺通2-1-82 ☎092-714-5743
■ 長 伸幸氏 長公認会計士事務所 所長 (博多支部)

経営者にとって「事業承継」をスムーズに行うことは最大の課題であり、責務です。後継者教育？親族・社内承継？株式承継？など、事業承継に関するさまざまな課題を勉強します。

9日 10:00 天神集合
11:00 現地集合

南支部
納涼会

■ 活魚茶屋 ざうお本店 福岡市西区小田79-6 ☎092-809-2668

18日 18:30~21:00

博多支部
8月例会

「原点帰帰」～自社を知って商売繁盛!!～

■ 天神ビル 11階 福岡市中央区天神1-12-1 ☎0120-323-920

自社の強みを知ることは、会社経営における原点です。自社紹介(自社分析)および他社紹介を通して自社の強み・アピールポイントを再発見します。また、他社の良い所を自社経営に活かし、博多支部会員の事を互いに知り、より良い支部およびブロック活動に活かします。そして、自社のパートナーとなるべき会社発見に繋がります。

18日 18:30~21:00

中央支部
8月例会

経営指針書できり拓く 社長と社員の明るい未来

■ 天神ビル 11階 福岡市中央区天神1-12-1 ☎0120-323-920
■ 林田 浩暢氏 合資会社 若竹屋酒造場 社長 (りょうちく支部)

会社の魂ともいえる経営指針書。「大事なものはわかっているけど、どう作成したらよいかわからない」、「一度作成したけど、この内容でよいのだろうか?」と感じている方も多いと思います。先祖代々、300年の歴史がある蔵元を守り続ける林田氏は、経営指針書をどう作成し、それを使って会社をどう変えていったのか?「自社を変えたい!!!」、「自社をもっと良くしたい!!!」と考えている方、必聴の報告です。

18日 18:30~21:00

玄海支部
8月例会

ちょっと待って、ちょっと待って「マイナンバー」。「マイナンバー」ってなんですか?

■ 都久志会館 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
■ 荒木 正文氏 荒木正文公認会計士事務所 代表者 (玄海支部)

今年の10月より個人番号カードが国民全員に配布されます。それに伴い、個人が自分のマイナンバーをきちんと管理しなければならないのはもとより、企業側にもかなりの管理負担が増えることが見込まれます。何をしなければいけないのか、何をしてはいけないのか、勉強し理解を深めましょう。

18日 18:30~21:00

かすや支部
8月例会

経営指針書で会社が変わる!

■ シーメイト 糟屋都志免町志免451-1 ☎092-936-8141
■ 山内 修氏 山内経営コンサルティング事務所 代表者 (福博支部)

なぜ経営指針書が必要なのか?という基本的な考え方から実際の具体例まで、グループワークを交えながらお話し頂く予定です。

18日 18:30~21:00

糸島支部
8月例会

地域経済を循環させ、自立型企業を目指す ～地域に根ざす中小企業をいかに育てるか～

■ 前原公民館 糸島市前原東2-2-5 ☎092-322-2481
■ 中山 英敬氏 株式会社ヒューマンライフ 代表取締役 (南支部)

地域に根ざす中小企業としてめざす姿を報告いただきます。■企業像(存続することで、雇用が生まれ、納税が行われ、国民と地域社会からの信頼や期待に応えられる)、■経営者像(いかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して、自社を維持し発展させる)、■経営環境像(人口減少が懸念される中、地域に根ざして活躍する)

18日 18:30~21:00

北九州支部
8月例会

情勢を知り、良い経営環境を作ろう!!

■ コムシティ 大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
■ 北橋 健治氏(仮) 北九州市 市長 他

北九州市の今後のビジョンや中小企業振興条例を知ることは、我々中小企業の経営者が会社経営をやる上で欠かすことの出来ないものであり、それを活かすことは重要かつ責務である。そこでこの例会で北九州の今後のビジョンを北九州市長にお願いし語っていただき、また中小企業振興条例についてお話しただけの方に語っていただくことで我々中小企業経営者が考える機会、時間を是非とも作りたい。

18日 19:00~21:00

大牟田支部
8月例会(同友会を知る会)

ハイ喜んで!～私にとっての同友会とは?～

■ 大牟田文化会館3階 第1研修室
大牟田市不知火町2-10-2 ☎0944-55-3131
■ 濱田 浩光氏 貼りアップ株式会社 代表取締役(南支部)

同友会入会以来、会暦8年で支部長を経験し、現在では共同求人委員会委員長を務められています。多くの仲間と知り合い、そして学びあい、多くの気付きを得て経営者として成長されたことが、会暦に現れています。これまで同友会の学びを自社においてどう活かしてきたのか、社員さんたちと共にどのように成長してきたのかを報告して頂きます。

19日 18:00~21:00

東支部
8月例会

「おもてなし」

■ アゴーラ福岡山の上ホテル&スパ 福岡市中央区舞台1-1-33 ☎092-771-2131
いまや、どの企業でも使われている「おもてなし」そのおもてなしとサービス、接客、接遇等それぞれの違いや考え方は様々であると思います。今回は17年のCA経験を持つ近藤みなこさんからCA流「おもてなし」をテーマに、コミュニケーション術や第一印象のスキルアップなど、裏話やオリエンテーションを織り交せて盛り上げたいと思います。その後はアゴーラ福岡山の上ホテルのラグジュアリーバーベキューで「おもてなし」を感じつつ盛り上げたいと思います。(※当日はバスの送迎があります。)

19日 19:00~21:00

青年支部
8月例会

■ IPホテル 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-1965
■ 石橋 一海氏 エヌビーエス株式会社 代表取締役(福博支部)

昨今の日本の問題点として、少子高齢化に伴う人口減少による人手不足や国内市場の構造的な縮小等が挙げられます。外国人留学生の日本での就職目的の申請数は平成22年度以降増加しており、実習制度では受け入れ期間が最長3年から5年へ延長されることが決定しました。将来的な労働力確保や、途上国・新興国等拡大市場への進出にも繋がる可能性があります。外国人人材を活用することにより経営に多様性を持たせ、企業の成長戦略にどう結び付けていけるかを学びたいと思います。

19日 18:30~21:00

筑豊支部
8月例会

「同友会での学びと我が社の発展」 ～鹿島流 同友会活用術～

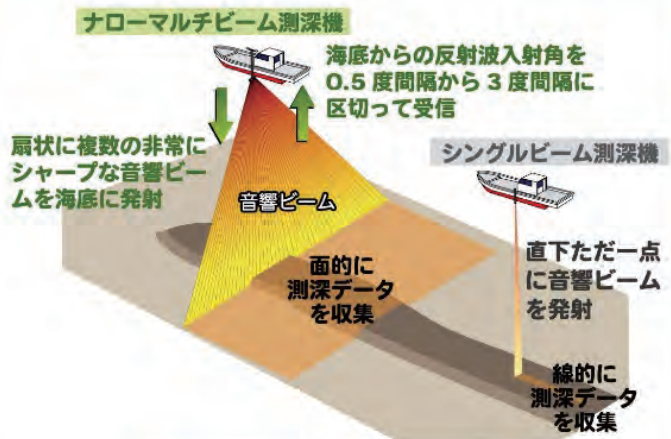
■ ユメニティのおがた 直方市山部364-4 ☎0949-25-1007
■ 鹿島 克介氏 株式会社カシマ製作所 代表取締役(筑豊支部)

自 社 商 品 ・ サ ー ビ ス 紹 介

水面下(海底, 湖底, 大水深河川)の詳細な地形データ(測量成果, 3Dデータ)が必要なときは?
「ナローマルチビーム」があります。

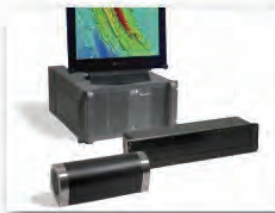
ナローマルチビーム測深機とは

ナローマルチビーム測深機は、シングルビーム測深機が直下ただ一点に音響ビームを発射するのとは異なり、256本もしくは512本の非常にシャープな音響ビームを扇状に海底に発射します。そして、海底からの反射波入射角を0.5度間隔から3度間隔に区切って受信することによって、短時間で広範囲かつ高密度な測深データを得ることができます。



ナローマルチビーム測深機

短時間で広範囲かつ高密度の測深データを収集

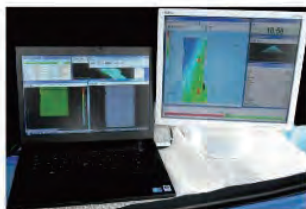
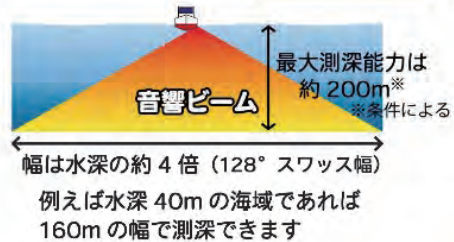


シングルビーム測深機

調査船で何度も往復しながら測深データを収集

ナローマルチビーム測深機 (Seabat7125)の仕様

周波数	400kHz
最大レンジ	200m
スワッチ幅	128°
ビーム数	256/512 等距離・等角度
最速測深間隔	50Hz
測深分解能	6mm



測深した範囲の水深カラーチャートをリアルタイムでパソコンに表示、記録していくので、海底の状況をその場で確認しながら測深できます。



システムの送受波機は船体に取付けられ、小型船舶でも十分に使用できます。船上に設置される機器はパソコン3台分程度の大きさなので場所も取りません。

お問い合わせ

株式会社 E - SYSTEM (イーシステム)

本 社

〒812-0020 福岡市博多区対馬小路1-21
 TEL:092-281-6350 FAX:092-283-6860

広島支店

〒732-0803 広島市南区南蟹屋1-3-32
 TEL:082-510-2144 FAX:082-286-8422

藤本 尚伸 (玄海支部) mail:e-toiawase@esys1996.com http://www.esys1996.com

2015年度 第2回理事会報告

■ 日時：2015年6月24日(水) 14:30～17:30
■ 出席：47名(出席率81%)

■ 場所：福岡県中小企業振興センター 202会議室
■ 議長：新内 一秋(副代表理事)

報告事項

● 対外的対応事項

- 1 飯塚市「飯塚地域合同会社説明会」における主催名義使用の承認
 - 2 わっしょい百万夏まつり振興会「第28回わっしょい百万夏まつり」の協賛の承認
 - 3 九州産業大学「キャリア開発講師依頼」の確認
 - 4 福岡県より「企業経営者人権啓発セミナー」開催への協力
 - 5 福岡県よろず支援拠点より「一周年記念セミナー」案内
 - 6 公益財団法人全国中小企業取引振興協会「ビジネスマッチングステーション」案内
- 法人化に伴う検討事項
- 1 監事に関する規程について提案があり、次回検討していくこととした。
 - 2 組織図および理事名簿の訂正について承認した。
- 参加要請事項(委員会等)

・経営労働委員会
経営労働委員会より、入会3年以内の会員の「あすなろ塾」「経営指針作成2泊3日セミナー」への受講状況の資料説明があった。今後参加を増やしていき、年度末には支部の受講率や受講数上昇率の表彰なども検討している旨、方針説明があった。また、一部の支部から経営労働委

員会への役員選出がない支部があるため、可能な限り選出をお願いしたい旨、要請があった。

審議事項

- 会費未納者の退会について
中央支部会員1名について審議、承認した。

協議事項

- 運動方針の推進
- 1 本部の活動
・中小企業憲章推進本部
中小企業憲章推進本部より、今年度の勉強会の企画(年間予定)について説明があり、確認された。
 - 中同協活動への参加促進
議長より、下記の行事について案内された。
1 8月20日～21日 2015経営労働問題全国交流会(鳥取)
2 8月26日～27日 組織強化・広報・情報化全国交流会(東京)

※ 理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2015年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

WELCOME
Fresh our partners

新入会員ご紹介

ようこそ同友会へ



株式会社大東
配電盤の設計製造及び据付。
産業用機械の設計製造及び据付。

北九州市八幡西区小嶺2-16-45
TEL 093-613-3311

取締役 のうみ ゆきこ 能美 由希子 (北九州支部)

株式会社AZUMAの上田裕子様からのお誘いを受け、熊本同友会を見学させていただいたことがきっかけとなり、入会いたしました。また、例会で教えていただいた経営指針書に感銘をうけました。創業から50年、機電一体にて北九州市を中心として全国に出荷をしております。先輩方の貴重な体験、ご意見を伺いながら、これから勉強させていただきたいと思っております。



VQS株式会社
FP業務と保険代理店

福岡市南区長丘1-19-32-302
TEL 050-1417-9539

代表取締役 おおいし ひろあき 大石 博明 (福友支部)

FP業務とアセット・アドバイザー(屋号)で保険代理店をしています。事業承継対策・決算対策・相続対策が主な営業範囲です。営業エリアは、福岡県・大分県です。福岡県では長男が営業担当です。入会目的は、人脈の拡大と長男の経営者教育です。未熟な長男ですが、ご指導ご鞭撻をお願いいたします。FP業務では、会社経営の種々ご相談に乗れると思います。お気軽にお声掛けをお願いいたします。



会員からの

自由投稿!

このコーナーでは、会員のみさんから寄せられた記事をご紹介します。

ITの言葉 身近なICT

SIMロック解除とは?

携帯電話やスマホには、契約者の情報が記録された“SIMカード”が入っています。日本で売られている端末は、購入したときに契約した通信会社以外のサービスには使えないのが一般的です。これが“SIMカード”です。例えば、ソフトバンクで契約したスマホでドコモのサービスを使うことができなかつたりします。

SIMロック解除で、好きな端末、好きな通信会社のサービスを組み合わせやすくなります。使っている端末を、そのままほかの通信会社に変更することができます。長期の海外旅行では、現地で有効なSIMカードに交換し、滞在中の費用を安く抑えるような使い方もできます。

これから眼鏡・腕時計タイプの、ウェアラブル(身につける)端末が増えると予測されます。これらを使いこなすときに、様々な選択肢が期待できます。



グループウェアの進化?

我々中小企業でも、グループウェア導入が身近になりました。

グループウェアとは、社内の情報共有が出来るソフトです。具体的には、スケジュール、掲示板、休暇申請、会議室予約などの機能があります。有名などころでは、サイボウズやデスクネットなどがそれです。これらを使いこなすためには、社外のサーバーを借りる“クラウド”利用がお奨めです。インターネットで検索すると最適なソフトの選択が期待できるかもしれません。最近では、顧客管理や、営業支援、日報の機能強化されたものも出てきています。



記事：福岡IT部会 倉本 明彦氏

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか!

このコーナーの記事を公募いたします。テーマは自由です。川柳、写真、地域の紹介、雑学...等々。みなさんの投稿をお待ちしております。

投稿方法...電子メール、郵送いずれも可。表題に「月刊同友 自由投稿コーナー」とご記載ください。

送付先...一般社団法人福岡県中小企業家同友会 広報情報推進本部広報部 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

もしくは、福岡同友会事務局 旭 (s_asahi@fukuoka.doyu.jp) まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。

奮ってご応募ください

福博支部 森温子さん提供

ぷ れ ぜ ん と

福博支部 富永真由美さん提供

「月刊同友を見た」とお伝えいただいた方に
生ビール1杯をサービスいたします。
 (8名様まで)

〒812-0029
 福岡市博多区中洲4-7-8
 TEL・FAX (092) 282-8716

博多 庵

同友会会員限定♥ お好きなお飲み物+お通し3品
イモミちゃんSet 1,200円

耐・酒imomi(いもみ)
 〒810-0801 福岡市博多区中洲4-7-8 B1F
 ☎092-262-6322

ミスタードーナツから中洲大通りに入って2軒目のビル(バチンコ屋さん)地下1階